

（様式6-A） A. 雑誌発表論文による学位申請の場合

樋口 裕 哉 氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目 Risk of Falls with Benzodiazepine Receptor Agonists in Combination
with Novel hypnotics.

(ベンゾジアゼピン受容体作動薬と新規睡眠薬の併用による転倒リスク)

Indonesian Journal of Pharmaceutics (in press)

Yuya Higuchi, Yuya Ishikawa, Takuya Araki, Yukina Ohshima,
Hideaki Yashima, Koujirou Yamamoto

論文の要旨及び判定理由

樋口裕哉氏から学位申請のため提出された論文は、転倒転落リスクを考慮した睡眠薬の適切な使用を推進することを目的に、ベンゾジアゼピン受容体作動薬と新規睡眠薬であるメラトニン受容体作動薬あるいはオレキシン受容体拮抗薬の併用による転倒転落リスクを評価したものである。樋口氏はビッグデータを用いて、ベンゾジアゼピン受容体作動薬服用患者および非服用患者に対し、新規睡眠薬の服用が転倒転落リスクに与える影響をロジスティック回帰分析で評価した。その結果、ベンゾジアゼピン受容体作動薬服用患者での新規睡眠薬の併用は、転倒転落リスクを上昇させないことを示した。睡眠薬の併用による転倒転落リスクへの影響を明らかにしたのは本研究が初めてであり、この成果は転倒転落リスクの評価指標の一助となり、臨床上有用であると認められ、博士（医学）の学位に値するものと判定した。

（令和6年2月9日）

審査委員

主査 群馬大学教授（医学系研究科）
循環器内科学分野担任 石井 秀 樹 印

副査 群馬大学教授（医学系研究科）
肝胆膵外科学分野担任 調 憲 印

副査 群馬大学教授（医学系研究科）
医療の質・安全学分野担任 田 中 和 美 印

参考論文

なし